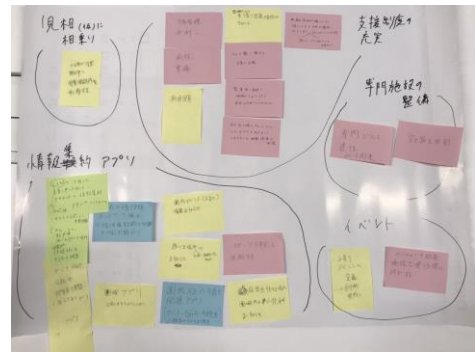


第8回会議の開催および木村教授からご講演をいただきました！

第八回未来創造塾は、Team SALUDが1月23日(木)に大分市で、LivabLABOは1月28日(火)に臼杵市で開催し、各チームの研究テーマについて引き続き分析を行いました。



Team SALUD



(Team SALUD)

子育て支援策についての検討を行った。ブレインストーミングを行い、子育て支援策についてアイデアを各自発案し、検討を行った。その結果①児童虐待②支援制度の充実③専門施設の整備④情報集約アプリ⑤イベント関係の5つのテーマに分類された。この中では、情報に関連する案が多く、子育て世帯が一番求めているものは「情報」ではないかと考えた。アプリもしくはLINE等の既存のものにはめこむ形式での情報提供はもちろん、利用者同士での情報の共有や発信が根付いていけば、子育て制度限らず観光や防災等様々な分野への流用が可能な点から「④情報集約アプリ」についてさらに掘り下げて検討していくこととした。

(LivabLABO)

「住人第一主義のまちづくり」については、子育てに関する政策で、①保育所等の共同整備(越境利用)②就学児童に向けての環境教育③保育士の確保④送迎支援⑤広域利用における入所手続きの簡素化⑥自治体間連携による子育てに温かい社会の機運醸成⑦教育とSDGsなど、具体的な政策の方針に向けて議論を行なった。また、「交通政策」では、国の公共交通政策や先進地域等の事例を用いて、議論を行った。この中では観光地は実証実験の取り組みが多く、交通政策を行いやすいことを踏まえて、具体的な政策の方針に向けても議論を行った結果、①Maasに係る基盤の整備②乗合タクシーの広域化③高齢者専用オペレーター④勤務先企業との連携が挙げられた。次回は今までの意見を整理するために、ブレインストーミングを行う。また、今後の進め方について確認を行い、3月までに提案内容を決定することになった。

明治大学木村教授から「自治体間の広域連携」のご講演いただきました！



2月13日(木)に明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科の木村教授にご自身の自治体行政の経験もふまえ、将来の圏域経済の活性化を実現可能なものとするための貴重なアドバイスをいただきました。